

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学新聞会
責任者 土本順子

六月号

クローズアップ選挙

投票率昨年に引き続き六割台

五月二十一日(月)から五月二十四日(水)にかけて、執行委員会選挙が行われた。その結果、執行委員長に本多秀俊氏、副委員長に川村昌生氏と森干香氏の兩名が信任された。総投票数は、一四八〇票(総有権者数二三八〇名)で、投票率にして六〇・八%であった。

昨年度の投票率は、六六・五%であり、今年度の投票率は昨年度に比べ約七%下回った事になる。その原因について選挙管理委員長の武田氏は次のように述べている。

一、例年コマブラに置いていた立て看板を今年には立てなかったこと。

二、二日間の演説会のうち一日が雨のため中止となり、その代替日が作れなかったこと。

以上の二点について、武田氏は次のように理由を述べている。立て看板を廃止した点については、例年看板を立てていたが、昨年度特に目新しい事をしなかったにも関わらず投票率が増加したので、看板の効果を特に重要視してはなかったからだと述べた。また、代替日が作れなかった事については、二年生以上には実習があったため、日程の調整がつかなかった事を理由としていた。

今回の投票率を見る限り、選挙に対する学生一人一人の意識がまだ足りないように思われてならない。今後の選挙管理委員会の課題としては次のような点が考えられる。まず、部活動やサークル活動に参加していない個人の選挙に対する意識の改革が必要である。次に、今までより積極的

新役員への抱負

この度、新聞会では新しく執行役員に信任された三名の方に、今後の抱負を伺ってみました。(敬称略)

委員長 本多秀俊
私達が在籍している東薬の学生自治会の存在意義は何であるかと思えます。自治会とはこの限られた時間、場所、人数でいかに充実し、有意義な学生生活を送るかを学生全体が検討し合う窓口だと、私は考えております。そのため現在執行委員会では、前期学生大会に向けて、着々と準備を進めていくところであります。

副委員長 川村昌生
六月から執行を受け継ぎ、改めて先輩方へ大変さを実感し、各自自治体及び大学側との交流においてあたふたしているのが現状です。今年度は学部学生駐車場を始めとして喫煙場所の問題などたくさんやらなければならぬ仕事があります。このよ

マラソン大会

去る五月十三日、第二十回マラソン大会が開催された。今回も例年と同様、参加者は各クラブのユニフォームをまとったり、各技なコスチュームでの力走となった。

また体育部門長である池谷修氏に、マラソン大会を終えての感想を伺った。

「毎年恒例のマラソン大会も今年で第二十回目を迎える事ができました。第二十回記念にふさわしく過去最高の参加者数となり、心配されていた天候も当日は晴れ、盛大に行う事ができました。皆様の御参加、御協力ありがとうございました。」

なお、上位入賞者は以下の表の通りである。

男子 (7.6 km)			
1	陸上競技部	部員	06'25"
2	陸上競技部	部員	04'25"
3	陸上競技部	部員	08'25"
4	陸上競技部	部員	04'25"
5	陸上競技部	部員	04'26"
男子 (3.4 km)			
1	第一薬学教室	部員	02'17"
2	第二薬学教室	部員	04'17"
3	公共衛生学教室	部員	03'17"
女子 (3.4 km)			
1	陸上競技部	部員	07'18"
2	バスケットボール部	部員	09'19"
3	硬式テニス部	部員	09'19"
4	バスケットボール部	部員	03'20"
5	バスケットボール部	部員	03'20"
女子 (3.4 km)			
1	第一薬学教室	部員	09'22"
2	第二薬学教室	部員	03'23"
3	第二薬学教室	部員	03'23"

うな問題に対して執行委員のみんなと協力して一つ一つ解決し、皆さんの学生生活がより一層充実したものとなるように努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

副委員長 森干香
六月一日から平成七年度執行委員会が発足しました。今年度は一年生も多く、とても活気のある雰囲気です。執行委員会は、大卒側と学生側の間で交渉を進めたり、部室稼働の管理など、学生にとって身近な事務を扱っています。

ところで昨年度執行委員会では意見箱を設置しました。些細な事でも意見として出されると現状を改善するきっかけとなります。より快適な学生生活のために、多くの意見をお待ちしております。交渉や解決には時間がかかりますが、一つ一つの問題に最善の結果を出せるよう、一年間頑張りたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

WINDS OF GOD

先日、「WINDS OF GOD」という映画を観てきた。

お笑い大賞受賞を夢見る漫才コンビ、アキと田代と金太はある日、信号無視をして交通事故に遭い、そのショックで一九四五年八月一日にタイムスリップしてしまふ。二人はそれぞれ岸田中尉、福元少尉と呼ばれる。八月一日に特攻出撃に出た際、途中接触事故を起こし奇跡的に命をとりとめた、というのがこの話のあらすじである。

原作・脚本・主演は「26」で有名な、今井雅之氏。監督はいま世界で通用する演出家・プロデューサーの一人と言われている奈良橋尚子氏である。劇場

この映画は戦争の愚かさや空しさを強く訴えていく作品である。現代人を戦時下でタイムスリップさせて、現在の我々の視点から当時の状況を伺い知ることが出来る。そのため、最近の若者が経験してない悲惨な時代の出来事を共感することが出来るのである。

終戦日の八月十五日。五十年間までと約二ヶ月である。戦争の悲惨さを振り返るのに絶好の機会なので映画館に足を運び当時の人々の苦悩や葛藤を味わってみてはいかがだろうか。



薬味

梅雨という、とにかくうっとうしい気持ちになるのが人情だが、これは毎年必ず通過しなければならぬ季節である。さて、この梅雨もたらす利益の中で、その筆頭から挙げられるのは水資源としての雨であるが、ここではその他の功を探してみよう。

雨の降り始めと降り終わりと合えば、雨そのものの汚れ具合もだいたい進んでいる。雨は空気中にあるゴミや胞子、汚染物質などを取り込んで落ちてくる、いわば「空の洗濯屋」なのである。雨は海や大地から蒸発した水蒸気が凝縮されて降ってくるのだが、蒸留水のはずだと思われがちだが、現実には前述のように空からいろいろなお土産を持ってくるものである。もう一つ、それは雨が降ると、それも強く降れば降るほど、空気中にはマイナスの空気イオンが増える。マイナスの空気イオンが増えれば、人間の気道の繊毛の運動は活発になれば、吸い込んでしまった空気中の細かいゴミは取り除かれる。これには気持ちよさ着させる作用があるのだ。雨が降りしつとりとした落ち着いた気持ちは、台風一過に感じるあの爽やかさは、雨で空気中のゴミがなくなり、マイナスの空気イオンが増えたおかげなのだ。梅雨の晴れ間の爽やかな時に、恋人とデートしたり、行き違いのあった友人と話をしたりするのは、良い方向へ進む一つの方法かもしれない。◆降り続く雨をうっとうしいと梅雨の季節、心当たりのある方はひとつ試してみてもいかがだろうか？

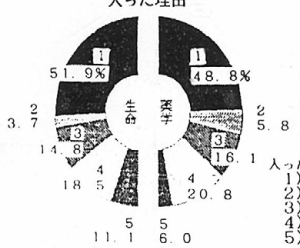
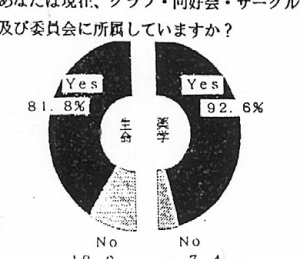
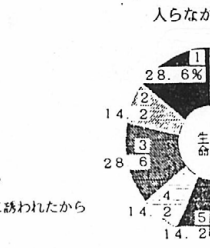
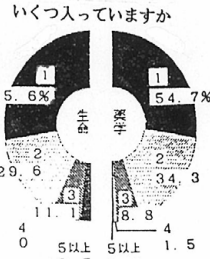
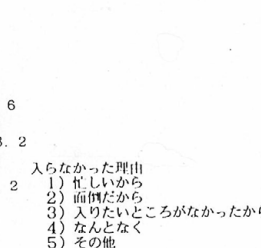
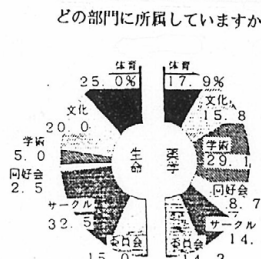
(あんこ鍋)

新入生 今年の入学傾向

II アンケート調査結果発表 II

先日、一年生を対象にして入部状況についてのアンケート調査を行った。結果は左のグラフの通りである。残念な

が、それでも大体の傾向をつかむことはできるだろう。ここでは、これだけのデータで一年生全員の入部状況を把握したというのではできない



「あなたは現在、クラブ・同好会・サークル・及び委員会に所属していますか?」という質問に対し、薬学部で九割、生命科学部では八割以上の人が Yes と答えている。しかし生命科学部は去年の九割と比べて、かなり減少している。

また「いくつこの団体に所属していますか?」という質問に対しては、薬学部・生命科学部ともに五割以上の人が一つだけと答えている。いくつもの団体を掛け持つよりも一つに絞らんだ活動を選んでいるというところだろう。

次に「どの部門に所属していますか?」という質問に対して、全体では学術部門と答えた人が一番多く、ついで体育部門・サークル・委員会へと続いている。特に今年一番人気の学術部門では入部希望者がとても多く、部内でもまだ部まで出ている。また生命科学部ではサークルと答えた人が最も多く、学部生全体の約三分の一に及んでいる。

「クラブ、委員会等に所属した理由はなんですか?」という質問に対して、「やりたかったから」という答えが他に比べて圧倒的に多く、約半数の人がそう答えている。しかし「なんとなく」と答えた

他人の迷惑 考えろ

電話は便利なものである。遠くにいる人とリアルタイムで会話ができる。けれども、電話がもたらすのは必ずしもプラスの面ばかりではない。

眠っている時や手が離せない時にかかってくる電話に容易な経験は誰にでもあるだろう。基本的には電話をかける時は相手の都合を無視しているのだ。

目の前にいない相手が何をしているのかわかることは出来ないのだからやむを得ないことではある。だが、ある程度は推測がつかう場合もある。例えば、夜中ならば大抵の人は眠っているだろう。けれどもこうした場合、二十分近くおき、去年を遅かに上回っている。

また「経験があるから」と答えた人が思っている以上に多いので、大学に入ってから新しいことにチャレンジしようという考えの人もかなりいるということがわかる。

一方、クラブ・委員会等に所属していないと答えた人は少数だが理由は様々で、一番多い「忙しすぎる」という人も全体の三割に満たない。

今年のアンケートの集計を通して感じたことは「去年に比べて、かなり消極的になったのではないか」ということだ。最初に述べたように、クラブ等団体に所属していると答えた人は生命科学部、薬学部ともに去年より減少している。また、クラブ等に所属した理由として、「やりたかったから」と答えた人の人数は確かに多いが、それでも去年の約六二%という数字を大きく下回っている。

とはいえ、昼休みに部室のまわりから聞こえてくる体育部門の練習の声はさすがに響きわたっているし、掲示

く当たり前の心遣いが最近では失われつつあるように思えてならない。

相手に対して心遣いをするのとは対照的では手える印象が天と地ほど違う。間違いない電話にしても無言で切られれば腹が立つものだし「すみません」の一言があれば「まあ仕方ないよな」という気持ちになれるものだ。礼節をもって他人に接することは相手に対する心遣いであるだけでなく、自分の印象を良くすることでもありの。

それに、このような心遣い板には毎日、文化部門や同好会、サークル等からの連絡がたえない。東薬祭実行委員会や総代等を始めとした委員会活動も活発である。

いずれにせよ、何らかの団体に所属することは、その中の先輩や友人との交流を通して大学生活全体を有意義なものにするための有効な手段といえる。自主的な行動が求められる大学の課外活動では、ある団体に所属しているということが、そこで何をすることが大切である。皆のこれからの活躍に期待していきたい。

学内展

文化部門の主催で六月十四日から二十一日までPITにおいて学内展が開催される。参加予定団体は華道部・写真部・美術部・やきものクラブの四団体である。

この学内展は春展と似た形式であるが、学内展では新入生の作品も展示されるので、新入生の皆さんも春展にはない親しみを抱いて見に行くことをおすすめする。

学術スポーツ大会

去る六月三日、京王体育館で学術部門主催のスポーツ大会が行われた。全体の出席数もよく、特に新入生の参加が目立った。

バレーボール、ドッジボール、大なわとびをトーナメント方式で競い、優勝団体には賞品が与えられた。日頃の運動不足の解消という意味も込め、参加者たちにとっても良い一日であったことだろう。

「親しき仲にも礼儀あり」という言葉があるように、親しいというところは礼儀を欠いて良いということでは決してない。身近な人にとっては礼儀正しく接し、相手に不快感をさせないよう心がけたいものだ。(浜)

普段から私達はかなり慌ただしい生活を送っている。毎朝目覚まし時計にお世話になり、電車まで走らなければならない時間に追われる生活をしていくものには驚くべき機会がほとんどなく、また「芸術」に興味のない人は触れる機会が全くないと言ってもいいであろう。このような人はこの学内展で作品を見学程度に見に行くのもよし、じっくり観賞するのもよいだろう。この機会に一度「芸術」というものに触れてみるのも良いのではないだろうか。

一ヶ月前からひきつぱなしの風邪が、なぜだか夫だに直らない。噂によると全快までには一月以上かかるらしく、体はだるいし喉は痛いし、おかげで授業も実習も身が入らない。こんな時、頼りになるのがノートを買ってくれる友人とか有能な実習パートナーとか。やっぱり、友達っていいね。

今日印刷日 日前でござる。まだ原稿ができていないので小生はさくさく帰るでござるよ。 妊娠。(婆本)

兄貴、どこまでもついていきませ。兄貴好きじゃあああ。 (タツ子)

おーいほほほほ、私、三年になれないうちも知らなくってよ。どうしましよってうっすす。 (ちゃてい)

居る居るちゃんがいんだって場あぁあ。 (ほの)

私はワープロが嫌いだ。もう帰る。 (ふぶ)

さ、練習行こつと！私も帰る。 (小学生)

♡先輩と先輩が私を見捨ててしまった。女王様とっでもさびしいわ。(キューティーあっこ)

聊うらの会堂の時計の上にはお宝様があります。(甲)

最近、体力がないうえに、女性にいちめられる今日この頃。(富蘭月)

IO最後はやっぱりしあわせく。(XANSA)

動不足の解消という意味も込め、参加者たちにとっても良い一日であったことだろう。

六月
十四日(水) 学内展
二十一日(水) 学内展